新型コロナウイルス感染症対応フローチャート

大庄中学校　R2.5.29 現在
（*国のガイドライン 5/22
尼崎市の指針　参考）

各家庭で健康観察

◎生徒⇒毎朝検温し、体温・健康状態を健康観察カードに記入。保護者がサインし、登校日は、必ず健康観察カード、ハンカチを持ち、マスク着用して登校する　＊予備マスクとビニール袋を置く
＊体調不良者は、無理に登校せず、症状を学校に連絡の上休む（出席停止扱い）
◎教師⇒毎朝検温、マスク着用、出勤時は検温、体調チェック表に印鑑を押す

登校時、正門での健康観察（未検温･カード忘れ　体調不良者のチェック）

◎教師はあいさつ運動の際、未検温、カード忘れ、体調不良　マスク忘れ、教室入る前の手洗いの声かけを行い、該当生徒は昇降口の検温測定所へ誘導する
◎副担任、養護教諭が検温測定所（昇降口）で対応し、名簿に記録をする。
・未検温⇒測定して記入　・カード忘れ⇒検温して仮カードに記入
・マスク忘れ⇒簡易ペーパーマスクを渡し自宅で捨てるよう指示する
◎特に、３７℃以上他症状があった生徒に注意し、養護教諭が再検温（教室に入れないようにする）
早退者は、速やかに早退させ、待機が必要な場合は、小会議室を使用する。
（養護教諭は８：30～は保健室待機。遅刻生徒は職員室で同様の対応をする）
◎生徒は、教室に入る前に必ず手洗いを行う

換気　●教室、廊下等の窓、教室の出入口は全開を基本。最低限（クーラー運転時も）部屋の対角線上開けて換気
●体育館使用時も必ず換気　●休み時間、昼休みは全開換気

朝学活、教室での健康観察（健康観察カード確認　体調不良者のチェック）

◎担任は、健康観察カードを確認、声かけによる体調不良者の確認をする
（＊保護者サインがない生徒には、口頭指導）
体調不良者いれば、廊下で待機の先生の所へ行くように指示
◎廊下待機の教師は、軽症者は保健室に行くよう指示。調子が悪そうな生徒は、小会議室へ一緒に連れていく
◎養護教諭は、保健室前で待機し、来室生徒の早退判断（★基準参考）をする

欠席者の把握･報告

◎学年ボードに欠席者（理由、出停）を記入
◎特に、気になる体調不良者、家族のコロナ情報等も記入し、管理職・養護教諭に速やかに伝える

授業中

◎マスク着用。体育時は十分な距離あればマスク不要
◎授業初めには、必ず体調不良者がいないか声かけをし、居れば保健室に行くように指示
◎長時間、密集または近距離での対面形式でのグループワーク等、近距離で一斉に大きな声で話す活動は行わない
◎体育後、特別教室使用後は必ず手洗い又は消毒を行う。
◎共有具の使用をできるだけ避けるが、使用した場合は必ず手洗いや消毒をする（特に実技教科）
◎熱中症に注意する（水分補給、換気が十分な場合のマスクをとるなど）

昼食時間

◎昼食前後の手洗い指導（指定手洗い場）
◎外したマスクは、個人のビニールかポケットへ
◎全員、前を向き、会話を控えて食べる

昼休み

◎教室は全開換気をし、できるだけ密にならないよう分散する。天気の良い日はできるだけ運動場へ
◎予鈴前に必ず手洗いをしてから入室

掃除時間　・　放課後　環境消毒

◎トイレは教師が掃除。生徒掃除は、もくもく掃除を行い、終了後は必ず、丁寧に手洗いをする
◎放課後、担任は教室、副担任他、共有部分を中心に消毒を行う

部活動

◎教師が活動前に必ず健康チェック
体調不良者は無理させない！
◎活動休止によるブランクを考慮した内容を
◎咳エチケット、手洗い、消毒の徹底
◎休日の部活動⇒健康観察カードの提出を

＜保健室対応＞
◎保健室が感染源にならないよう発熱・風邪様症状生徒と他者との接触をできるだけ避ける
◎来室者は、入室前後必ず手指消毒をする
◎来室者対応は入口で行い、外傷や心身の不調者を保健室内で対応
◎体調不良者は極力ベッド休養や経過観察をさせず、迎えの為の待機が必要な場合は小会議室を利用する（複数の場合は大会議室）
◎早退させる際は、必ず保護者連絡をするが、どうしても連絡がつかず、１人で帰れる場合は早退票を持たせ、後に連絡を必ず入れる

★早退基準★
◎37.5 度以上
◎37.0 度以上でかぜ症状あり
◎熱なしでも咳が続いたりいつもと違う体の異変あり
＊本人の平常体温を参考にする

＊3密回避

＊ソーシャルディスタンス
◎昇降口、トイレ、教室入口ピロティ、更衣室　注意
◎廊下、階段は片側通行

消毒よりも手洗い習慣の定着
①登校後教室に入る前　②昼食前後　③昼休みの後　④体育や特別教室での授業後　⑤掃除の前後　⑥トイレの後　⑦共有物使用後